

バンクーバー便り 16

バンクーバー時間：11月1日(水)午前10時15分

日本時間：11月2日(木)午前2時15分

月日の経つのは早いものです。早11月になり、バンクーバーでは冬支度が始まりました。素晴らしい夏が過ぎ、並木道の紅葉と落葉、冬の訪れを告げる雨、やがて“レインクーバー”の本格的な冬になります。

BC州では2023年の祝日は11日あり、国の決めた National Statutory Holiday (Stat Holiday)、州の決めた祝日、私的に決めた祝日があります。バンクーバーでは10月の祝日は、10月2日(月)の National Day of Truth and Reconciliation (真実と和解の日)または Orange Shirt Day、10月9日(月)の Thanksgiving Day(収穫感謝祭)、祝日ではありませんが10月31日(火)の Hallowe'en があります。

10月2日の長ったらしい名前の祝日は本来、9月30日に行われる国の祝日ですが、州によって日にちは変わるようです。これは比較的新しい祝日で、先住民の寄宿学校を閉鎖し負の遺産として長く記憶にとどめるための祝日です。先住民の寄宿学校については先の便りで紹介しました。先住民の人達は National Indigenous People Day(先住民の国定日)である6月21日を希望しているようですが、7月1日の Canada Day と10日ほどしかないという理由で9月30日になっています。またこの日は、Orange Shirt Day とも呼ばれ、先住民の人達がオレンジ色を好んだことからオレンジ色のシャツを着る日ともされ、小学校でも9月29日(金)に生徒や教師がオレンジ色の服を着て登校しました。全身オレンジ色で圧倒したのは校長先生(女性)だったそうです。

一方、Thanksgiving Day は、10月第2月曜日の10月9日になります。本来秋の収穫に感謝する日で米国では11月第4木曜日です。カナダでは1872年に Prince of Wales の病気回復を祝って始まり、1879年以降は11月の戦没者追悼日のあたりに行われたそうです。なお、米国では1621年にイギリスから米国に移住したピルグリムたちが米国で初めて収穫のあったことを神に感謝すると共に、冬を越す知恵を授けてくれた native Americans に感謝して祝宴の席を共にしたという歴史があるそうです。現在のカナダでは七面鳥、アップルサイダー、パンプキン・パイ、芽キャベツなどを食べて家族と過ごす一日になっています。

祝日ではありませんが、10月31日(火)は Hallowe'en です。バンクーバーの Dollarama(いわゆる百均)でも Hallowe'en goods が山積みされ、骸骨やクモや幽霊など、日本でもお馴染みの商品が置かれています。子ども達は Trick or Treat の合言葉で近所の家を訪問して、お菓子をいただくのが何よりの楽しみで、それぞれがこったコスチュームを準備しています。バンクーバー近郊の Richmond の観光農場に家内と娘が友人家族と共に出かけました。車で20分程のところ。入園料大人8ドル、農場のカボチャで気に入ったものを1つ持ち帰れるとのこと。農場の入り口には野菜市場もあります。

Hallowe'en 当日、子ども達はコスチュームを着て登校します。先生も送り迎えをする親たちも負けずに驚きのコスチュームをします。コスチュームを持っていない子どもには学校が準備しています。前日に運動場に並べられた何百というカボチャを子ども達が採取して Jack-o-Lantern を作ります。体育館に集まった子ども達はコスチュームのお披露目をして実質的に学校はお休み状態です。娘と家内は18時から Trick or Treat の掛け声をしてお菓子集めに出かけました。我が家の前にも2人の力作の Jack-o-Lantern を並べ、子ども用にお菓子のバケツを用意しています。街には花火の音が鳴り響き、子ども達の元気な声も混ざって聞こえます。親たちは子どもの見守りで大変です。バンクーバーの Hallowe'en をみていると、小学校年齢の子ども達を楽しませる行事であることを実

感じました。



リッチモンドの観光農園 Pumpkin Patch



校庭を闊歩する Dinosaur



下校を待つ死神



Hallowe'en の正装をして教室に入るのを待つ子ども達と先生の Minnie Mouse



Hallowe'en の飾りつけをした近所のお宅



我が家の Jack-o-Lantern とネコの魔法使い